

■ ■ ■ 1月例会レポート ■ ■ ■



今月の第一例会卓話は「難民支援・認定の実情」で大変奥深く難しいテーマでした。

何故子供を含めた老若男女問わず島国日本を選んで「難民」として来日したのか。陸続きの大陸であれば 国境の川を渡るとか軍事境界線の鉄柵を超えるとかで母国を捨て隣国等に亡命すると思われるのだが、日本に「難民」として

大金を支払ってきたこと自体あまり理解できません。何か大きな組織でもあるのでしょうか？ 激しい貧富の差・宗教問題・政情不安等々 我々には理解することが出来ない問題が沢山あると思います。難民として認定されて在留許可を得ることができても 居住・就業はどうするのか？ 身元引受は



ピンクシャツデーにちなみピンクのものを身につけて記念撮影

どうするのか？ 難民として認定されない人達はどうなってしまうのか？ 等々問題は山ほどあります。駆け込み寺的存在の「名古屋難民支援室」で日々活動されている羽田野真帆氏や他職員の方々の働きに敬意を表します。もっとお聞きしたいことがありましたが時間的制約も有り余り聞けなかったのが残念でした。又機会があればお聞きしたいと思います。

(都築正和)

難民条約のもとで難民として認定されるには次の条件を満たしている必要があります。

1. 出身国の外にいる。
2. 迫害を受けるおそれがあるという十分に理由のある恐怖がある。
3. その恐怖は、「人種」、「宗教」、「国籍」もしくは「特定の社会的集団の構成員であること」または「政治的意見」を理由としている。
4. 出身国の保護を受けられない、または、恐怖があるために保護を受けることを望まない。

難民が難民として認定されるためには、その理由が条約上の定義に当てはまることを難民自ら、主張・立証しなければなりません。言葉の壁などを乗り越えて手続きを行うのは決して容易ではありません。名古屋難民支援室（DAN）は、弁護士などと連携し、守られるべき難民が適切に保護を受けられるようにサポートします。長い場合は5年以上かかることもあります。生活困窮状態の難民を、「医・食・住」を専門とする支援団体へとつなげ、難民のセーフティーネットを確保します。(名古屋難民支援室（DAN）の資料より抜粋)

ソウル YMCA 歓迎食事会

2月13日(木)にソウルYMCAのユース10名とスタッフ2名が合同スキーキャンプに参加のため来日しました。ということで 急遽開催されたささやかな食事会というか歓迎会に参加。せっくなので名古屋飯を何かと思い 山ちゃんの手羽先を差し入れましたが、韓国の小中高校生に胡椒の効いた味が気に入ってもらえたかは？です。彼らは14日名古屋観光してそれから17日までの予定でスキー場に向かいます。(渡辺真悟)



東日本大震災
犠牲者追悼式

毎年行われている東日本大震災の犠牲者追悼式が今年も行われます。どなたでも参加できます。実行委員団体に名古屋YMCA、名古屋キリスト教社会館も参加しています。

日時：3月11日(水) 午後の部 14:30～15:00
(黙とう 14:46)
夕方の部 17:30～18:00 (黙とう 17:46)
献花・記帳受付時間 13:00～18:00
場所：鶴舞公園普選記念壇

3月例会 講師



うちかわ よしかず
内河 恵一氏

弁護士。1967年司法試験に合格。1970年に弁護士を開業し、弁護士生活は今年で55年。「四日市公害訴訟」「東海道新幹線騒音訴訟」にも関わった。2008年名古屋高裁が自衛隊のイラク派遣に初の違憲判断を下した訴訟では、弁護団長を務めた。市民が気軽に法律相談できる環境をめざして2006年に開設された日本司法支援センター（法テラス）愛知地方事務所の初代所長も務めた。現在、全国で関わっている「生活保護基準引き下げ処分取消訴訟」の名古屋訴訟の弁護団長を務めている。2022年4月から2023年4月まで、中日新聞に「ひまわりと羊」（反骨の弁護士が見た戦後）が連載され、その生い立ちと弁護士活動が紹介された。「愛知のちのちの電話協会」創立時から、監事を務める。

第2例会レポート

と き : 2025年2月17日(月) 19:00 ~ 20:30

ところ : Zoom リモート

1.3月以降の例会 内容 & 卓話者 決定者および候補

3月例会 3月11日(火) 内河恵一氏 弁護士

テーマ 調整中

4月例会 4月8日(火) 山本氏(深谷さん紹介) 交渉中
オリンピックの父、危機管理の話?

5月例会 5月13日(火) 未定

6月例会 6月10日(火) 未定

(候補者)

- ・瀬川景子氏 名古屋 YMCA 職員 名古屋グランパスクラブ担当主事
- ・三枝 隆氏 名古屋 YMCA 職員 スズカトプログラムディレクタ
- ・牧野和博氏 元名古屋 YMCA 職員 (株)ミライブロジェクト取締役

2. 特別合宿例会(担当:谷川・平野・川本)

2025年3月14日(金) 15:00 ~ 15日(土) 12:00

ホテル・ド・マロニエ内海温泉 参加費:15,000円

※詳細について別途上記3名にて決定し、追ってクラブメンバーに配信する。

3. 西日本区大会

登録受け付けを開始。「クラブ単位」の申込みがルールなので、「登録早割期限4/7」に合わせ、3月末までに配信済みの登録用紙に各自記入し、書記川本ワイスまで申し込みを。旅程・宿泊は各自手配の事。

4. アジア・太平洋地域大会

参加登録はメンバー各自にて行う(クラブ単位では行わない)

実行委員会より募金(寄付)及び広告協賛依頼が有り、協議の結果、クラブとして1万円の広告協賛を決定。募金(寄付)についてはクラブメンバー任意にて行う。

実行委員会からの案内は2/18クラブメンバー宛に配信済み。

5. 中部評議会(2月15日リモート開催)報告

次次期(2026-27年度)中部部長:川本ワイスが正式決定。これに伴いキャビネット、中部部会についての主幹が名古屋クラブとなることも決定。

6. その他

- ・次期国際会長選挙結果報告
ノルウェー・1953年9月生ヨハン・ウィルヘルム・エルトビック氏に決定した。
職業:神学者(元世界YMCA同盟総主事)
- ・クラブメンバー以外(入会候補者)へのプリテン郵送について牧野氏・川瀬氏・堀尾氏・藤若氏に2月プリテンを郵送した。好意的な反応であり、今後も継続する。
- ・ピンクシャツデー 2月26日(水) 実行委員長:渡辺ワイス
名古屋YMCA各拠点で実施中。詳細は名古屋青年2・3月号を参照。ピンクのものを着衣し、FB・インスタに投稿を期待する。SNS苦手な方は渡辺ワイスまで写真を!
- ・次期会長・主査研修会 3月1日(土) 加藤ワイス・都築ワイスが出席
- ・リーダー感謝会 3月23日(日) 16:00 ~ (南山YMCA)
申し込みは名古屋YMCA遠藤スタッフまで。
(川本 龍資)

会計より会費納入のお願い

会費は月額7,000円、年額84,000円です。できるだけ6ヶ月分42,000円を7月と1月に納入して下さるようお願いいたします。(3ヶ月ずつ納入される方は7月、10月、1月、4月に納入して下さい)
ゆうちょ銀行 記号12120 番号82306781
なまえ ナゴヤワイスメンズクラブ

名古屋ワイス

ホームページとフェイスブックの紹介

名古屋ワイスメンズクラブの様々な情報はパソコンからは <https://nagoya-club.wixsite.com/toppage>
FACEBOOK:名古屋ワイスメンズクラブと検索スマホからは1p表題にあるQRコードをスキャンすれば見ることが出来ます。一度覗いてみて下さい



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

今月の聖句

「神によってあなたがたはキリスト・イエスに結ばれ、このキリストは、わたしたちにとって神の知恵となり、義と聖と贖いとなられたのです。」
(コリントの信徒へ手紙ー 1:30)

西村 清

人と結ばれることを「きずな」と言い、「親子のきずな」とか、「夫婦のきずな」といって、わたしたちの人生に欠かすことのできないものです。きずなが切れ、きずなが無くなると人間は孤独になり、希望を失うこととなります。

聖書では、「エン・クリストー」(ἐν Χριστῷ) を「キリストにあって」と訳しますが、「キリストに結ばれて」とも訳されています。男と女が結ばれるという場合、それは一体となるとも言われ、しばしば結婚を意味します。

また、我々人間とイエス・キリストの関係をぶどうの木とその枝に譬えられています。ヨハネ福音書15章5節に「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ」とあります。この聖書で、「つながっている」という言葉はメノー (μένω) で、「～の中にいる」という言葉が使われています。古い文語訳聖

書で、ここのところを「人もし我におり、我また彼におらば、多くの実を結ぶべし」となっています。私がキリストの中に内在し、キリストもまた私の中に内在してくだされば、多くの実を結ぶことができるというのです。

- ①キリストは知恵であって、キリストに従う時にのみ、われわれは人の道をまっすぐ歩むことができる。
- ②キリストは義である。この著者パウロが義という場合、いつも神との関係を言い、人間業ではなく、神のみがなせる業を言います。
- ③キリスト者はキリストと共に歩む。キリストと共に歩む限り、世の汚れに染まらずに生きていくことが出来る。
- ④キリストはあがないである。イエス・キリストは人を、過去の罪から、現在の無力から、そして将来の恐怖から、救い出すことのできる方である。

YMCA ニュース

2025 年度 YMCA 大会

昨年の YMCA 大会は 10 月 5 日(日)にフィリピンアルバイ YMCA のティンティン総主事を招いて実施されましたが、2025 年度は 6 月 29 日(日)にルブラ王山で実施予定です。実行委員も 24 年度と同じ方々が引き続き役割を担っていただいています。25 年度は「Vision2030」4 つの柱の内、「Meaningful Work やりがいのある仕事と雇用環境の創造」に焦点を当て、多くの年代の方に仕事について短いスピーチをお願いしようと思っています。(詳細は後日)

なぜこういう形になったかという 24 年度の大会の評

価でリーダー達からは「表彰される方のスピーチが楽しかった」という意外?な意見が多く寄せられたのがきっかけです。お孫さんのおられる方で孫に自分の仕事のことなど語った方は少ないと思います。「孫のような?リーダーたち」に仕事自慢してみませんか? そのためにはワイズメンの方は勿論、多くの方々に出席していただきたいと思っています。また維持会員であってもなかなか大会に参加されない方々を掘り起こし、「みんなが主役になれる YMCA 大会」を目指したいと思っています。呼びかけをよろしく願います。(中井信幸)

ブリテン委員 からのお願い

各号に例会以外の活動報告を掲載しておりますが、全て当委員で把握出来ておりません。ワイズや YMCA 関係の行事に参加された方は その旨ブリテン委員にお知らせください。よろしく願います。